



平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立山鼻南小学校 5・6年児童101名 保護者20名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	本校の「総合的な学習の時間」で「進路探究学習」の一環として、将来への夢や希望を持たせるために、社会で活躍している「プロフェッショナル」とふれあい、夢をもって取り組むことの大切さを知るとともに、夢の実現に向かって努力した人との出会いを通じ、自分の将来についての考えを具体的に深めていくための視点をもつ。
5 取組内容	<p>事前にノルディックコンバインド競技についてや、冬季オリンピック競技についての授業を総合的な学習の時間で実施し、競技への理解を深める。</p> <p>当日は体育館で講演会を実施する。講話終了後は、6年生児童が別室で質問・交流する時間を設定し、夢の実現に向けて大切にしなければいけないことや、努力を続けることの大切さについて考える。</p> <p>後日、総合的な学習の時間「職業への道」の学習で、まとめの時間を設定する。</p>
	 



阿部雅也さん講演会
「金メダルへの道のり」～絆が生んだ金メダル

名前

1. お話を聞いて、印象に残ったことを書きましょう。

印象に残ったことは阿部さんの団体
金メダル(3枚)に時の仲間の手紙や
向かいをくわらしたあんなにいいとっ言
葉には仲間から阿部のためにいたの
嬉しいや嬉しいなとがこめられている
かを感じて印象に残りました。

2. お話を聞いて、感じたことや考えたことを書きましょう。

阿部さんは最後まで入って学んだ入る
事を教わってくれました。失敗をおそれず
かたでおしする。相手を立ち場になって
物事を教える言葉や夢を聞いて信じて
うつことも偉大か人生の中、必要な
ことだと思います。それを聞いた阿部
はすごいと思いました。お話を聞いて
そして、つらい時、涙がこぼれ、
「偉大かたて、でも阿部さんメダル
けていたたまらないと書いています。

阿部雅也さん講演会
「金メダルへの道のり」～絆が生んだ金メダル

名前

1. お話を聞いて、印象に残ったことを書きましょう。

ルディック団体試合はやる人が少ないこと
におどろきました。小学校で出会った。先生に
すすめられて、やめようとしたときも、夢に
交えてもらって、続けたと聞いて、印象に残り
ました。

2. お話を聞いて、感じたことや考えたことを書きましょう。

・代表に選ばれなかった時の阿部さんのモチベーション
・金メダルをとるまでに沢山の人が関係
しているということがよくわかりました。

・いつもは、オリンピックを見ているだけだと
その前にとんなことがあるのかを知らなくて
が、よかったです。

・阿部さんの夢をして分かったことも、教えて
もらったので少し覚えておいて、心がけることが
できたらいいと思いました。

6 主な成果

- ・事前授業でノルディックコンバインド競技や、講師が出場したオリンピック大会についての動画をまとめた資料を作成した。また、クロスカントリースキーとジャンプスキーの実物を用意し、実際に触れることで競技についての興味関心を高めて講話に臨むことができた。
- ・講師がいくつもの挫折を乗り越えてきたことや、周囲の支えへの感謝を忘れないことなど、講話から自分事として感じる児童が多く見られた。
- ・交流会後に一緒に給食を食べる機会も設定することができ、「夢に向かって努力すること」「仲間の大切さ」「失敗を恐れずチャレンジすること」などについて、強く感銘を受けていた。
- ・講師の生き方に触れることで、自分の生き方について見直すきっかけになった。また、将来の夢に向かうために、今すべき事を考える良い機会になった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者にも公開するために呼びかけたが、参加者が少なかった。より多くの保護者や地域の方に参加していただくことで、さらに深みのある学びになると考える。 • より多くの学年で取り組むことができるように教育課程へ適切に位置付けたい。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。